

第19回 FDフォーラム

AIと大学教育 「つながる社会」の作用と反作用

松田 恵示氏（東京学芸大学 副学長 教授）



○講師プロフィール

今年入学した学生が社会人になる頃、世の中はどう変化しているだろうか。AIが我々の社会に急速な変化をもたらすことは想像に難くない。しかし、どのように変化するかと問えば、研究者の答えも一つではない。本講演で「つながる社会」への理解を深め、愛知大学におけるAIとの共存について、ともに考えていきたい。また、愛知大学が目指す人材育成を考えるよすがとしたい。

大阪教育大学大学院修了。大手前女子大学文学部専任講師、岡山大学教育学部助教授を経て現職。専門は、社会意識論、遊戯論。「遊び」や「身体」をキーワードに、社会や人間や教育の理解を深める研究を行なっている。また、学校と社会をつなぐための教育人材の育成やスポーツ教育の開発を通じて、教育現場との実践的な共同研究も行っている。現在、教育再生実行会議・技術革新ワーキング・グループ有識者、日本教育大学協会企画・調査委員会委員長、超教育協会・AIワーキング委員ほか。

11月1日（木） 16:00～17:30

会場 名古屋校舎 グローバルコンベンションホール
（中継：豊橋校舎 6号館 623教室 車道校舎 第1会議室）

○問い合わせ先 名古屋学習・教育支援センター

担当：安井 内線20230/052-564-6150

多数の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

◆主な著書◆

「AI時代の教育への五つの提言」、教育と医学66-1 12 -18、慶應義塾大学出版会、2017
「青少年体験活動奨励制度」の開発と実践：若者における「体験」の意味と評価、社会教育72-10、13-19、2017
教育支援とチームアプローチ-社会と協働する学校と子ども支援-、松田恵示・大澤克美・加瀬進編、書肆クラテ、2016
「スクールカースト」「ゆとり世代」、今どきコトバ事情 -現代社会学単語帳-、井上俊、永井良和編、ミネルヴァ書房、2016
「AI時代の学校教育と教師に求められる資質・能力①～⑩」、『教育新聞』連載、2018.5月24日付～7月4日付